



6月定例市議会 市長所信

6月議会が6月7日から24日までの18日間の日程で開催されました。開会日には、議案審議に先立ち、当面する市政の重要課題について、市長より所信が表明されます。今議会で表明された主な内容は、次のとおりです。

紙面の都合上、抜粋して要旨部分のみを掲載しています。全文をご覧になりたい方は、ホームページをご覧ください。また、後日作成される市議会会議録は、市立図書館等で閲覧することができます。

日本女性会議 〈男女共同参画〉2013あなん

ご承知のように、日本女性会議はこれまで人口が数十万人以上の大都市で催されており、10万人にも満たない地方での開催は今回が初めてです。こうしたことから、実行委員会では、第30回の節目となる本大会の成功を願い、「いきいきわくわく、小さなまちから新たなステージ！」をスローガンとして掲げ、阿南市の元気を全国に発信するとともに、男女共同参画社会の実現に向けた意義ある大会にしよう」と、市民・企業・行政の協働により準備を進めています。

また、介護・防災・食育などをテーマとした9つの分科会につきましても、全国からの参加者が各分野における問題や課題を見つめ、話し合うなかで、解決への糸口を見いだすことができる会となるよう、それぞれの運営委員会において協議を重ねているところです。本大会は、多くの人の心が一つになって実現したもので、これを契機として、男女共同参画に関する市民意識の

向上と、お互いが支え合う社会づくりの推進が図られることを期待するものです。

遍路道の国史跡追加指定

去る3月27日に、阿波遍路道のうち「鶴林寺道 太龍寺道 いわや道 平等寺道」の約2・75キロメートルが国の史跡に追加指定され、平成22年度の指定分と合わせると、太龍寺周辺の遍路道5・05キロメートルが国史跡となりました。

これらがきっかけとなり、「かも道」は、今や全国から多くの人が訪れる「名所」となりつつあるなか、地元ボランティアの動きも活発化しており、4月に加茂町の一宿寺と太龍寺を結ぶ「かも道」の全長4・4キロメートルに誘導案内板18基を設置するなど整備を図るとともに、5月には「遍路道」を活用したまちづくりをめざす「加茂谷へんろ道の会」が結成されています。また、本年10月19日と20日に本市で開催される「第12回全国歴史の道会議 徳島県大会」につきましましては、5月9日に第1回実行委員会を開催し、「遍

路道を生かした地域の連携」をテーマとしたシンポジウムや、参加者に遍路道の歴史を体感していただくウォーキング大会のコース設定など、準備を進めているところです。

大会には、県内外から約200人の参加を見込んでおり、遍路道を文化財として保護する機運の醸成や、地域の活性化等につながる活用手段などについて、熱い議論が交わされるものと存じています。

本市にとりまして「かも道」は、後世に伝承すべき貴重な財産であることに加え、新たな観光資源として全国から注目されていますので、こうした流れを絶やさぬために、「加茂谷へんろ道の会」との連携を図りながら、その魅力を全国に発信してまいりたいと考えています。

市制施行55周年の記念事業

5月1日に節目を祝う式典を挙行了しました。約550人の参加をいただき、吹田文明さんへの名誉市民証の贈呈、また、100歳以上の長寿者および市勢の発展に寄与された方々への表彰な

ど、盛大のうちに式典を終えることができました。その後の火坂雅志さんによる記念講演では、会場全体が阿南の歴史ロマンに包まれ、多くの方からご好評をいただき、また、5月5日には「NHKのど自慢」の公開生放送が行われ、前日の予選会と合わせて延べ約2500人の来場者を得て、大変盛況でした。

5月25日には、本市出身の多彩なゲストをお招きし、「大好きふるさと阿南を語ろう」と題した記念シンポジウムを開催したところですが、ふるさとに対する熱い思いや特性を生かしたまちづくり等について語っていただくなど、有意義なひとときであったと存じています。

今後の記念事業につきましては、「子ども議会」の開催、「市政バス」の運行、「図書館まつり」などを計画しており、より多くの市民の皆さまと市制施行55周年をお祝いするとともに、市民と行政が手を携え、次の節目に向けた新たな一歩を踏み出したいと考えています。なお、来年5月には、55周年記念企画として、ふるさと創作ミュージカル「新開桜」を開催する予定です。

阿南ふるさと大使

本市にゆかりがあり、さまざまな分野で活躍されている方々に、それぞれの活動を通じて阿南市の観光・歴史・文化等のPRをお願いするとともに、助言や提言等をいただくことで本市の新たな魅力の発見や情報発信手段の見直し、強化を図ろうとするものです。

先般、阿南市を応援する熱意に満ちた桑野町在住のプロサーファーの武知実波さん、落語家の笑福亭学光さん、野球評論家の水野雄仁さん、脚本家の旺季志ずかさん、俳人の大高翔さんの5人の方に大使を委嘱し、本市のイメージアップにお力添えをいただくようお願い申し上げます。

イメージアップキャラクターの制作

本年1月上旬から3月上旬にかけて、そのデザインを広く募集したところ、市内外から合計204点の応募をいただきました。

先般、選考委員会を開催し、寄せられた中から優秀作品4点を選び、それらについて、現在、人気投票を実施しているところです。市立の小中学校の全児童生徒に投票をお願いするとともに、市内各公共施設に備え付けた投票用紙での投票、Eメール、郵送での投票などさまざまな手段を用い、できるだけ多くの方に参加していただきたい

と考えています。

今後のスケジュールにつきましては、6月下旬に最優秀作品を決定したのち、着ぐるみの発注に取りかかり、7月から8月にかけてネーミングの募集・決定を行い、10月12日に開催されます「日本女性会議」の全体会において、市民の皆さまをはじめ、全国からの参加者にお披露目したいと考えています。阿南市のPR大使として、各種イベントやキャンペーンに積極的に出向き、本市の特性を捉えた愛くるしい姿で会場の人々を和ませ、幅広い世代に愛されるキャラクターが誕生するものと楽しみにしているところです。

阿南風景百選事業

昨年4月から本年3月までを撮影期間とし、四季の風景や暮らしの情景を捉えた写真を募集したところ、614点の応募がありました。それらについて、審査委員長の木田英之さんが「四季の風景大賞」各1点、審査員の大高翔さんが「特別賞」各1点を選定し、先般、執り行われた表彰式で審査を終えての講評を述べていただきました。

また、大高翔さんには、それぞれの作品から感じ取ったイメージを俳句に詠んでいただき、それを写真と組み合わせることで、見る人の感性に強く訴えかけるものとなっています。大賞、特別賞を含む入選作品100点につきましては、6月7日まで阿南市文化会

館において展示をしました。今後、ホームページへの掲載、市役所ロビーやイベント会場での展示、観光PRポスターの作成など、幅広く活用してまいりたいと考えています。

なお、今回の企画に参加していただきました写真愛好家の皆さま方には、心からお礼を申し上げます。

放置竹林の解消に向けた森林整備対策

徳島県が調査し、公表している平成20年の「森林資源現況表」によると、本市の民有林総数1万4922ヘクタールのうち、828ヘクタールが竹林となっており、前回5年前の調査と比較し198ヘクタール増加しています。タケノコ生産のために肥培管理されている約524ヘクタールを除きますと、304ヘクタールの竹林が放置化され、周辺森林への拡大、隣接農地への獣害の誘発や斜面災害の危険性など、さまざまな弊害を発生させる要因となっています。

本来、森林の機能は、国土の保全はもとより、水源の涵養や生物多様性の保全など、人々が安全・安心に暮らせる多面的な機能を有しており、それを発揮することを使命としています。しかしながら、森林・林業を支える集落の過疎化や、業者の高齢化による担い手不足、あるいは木材価格の下落、生産物価格の低迷などにより、そ

れらの機能が損なわれつつあり、早急に対策を講じなければならない状況にあります。

このため、本年度から平成27年度までの3年間を森林整備対策の集中期間として捉え、地域の協働によって森林の多面的な機能を発揮させることを目的とする「森林・山村多面的機能発揮対策事業」に取り組み、森林組合やNPO法人など、関係諸団体と連携を図りながら、侵入竹林除去や竹林整備等、放置竹林対策の推進に努めてまいりたいと考えています。

野球のまち推進事業

昨年の8月から9月にかけて本市で撮影されました日本とモンゴルの国交樹立40周年記念作品となる映画「モンゴル野球青春記」が、本年4月に完成し、6月8日の那賀川社会福祉会館を皮切りに、市内3カ所のほか、徳島市の徳島ユーフォーテールブルシネマにおいても上映されることになっています。非常に感動的な作品に仕上がっており、また、市民の方もエキストラとして大勢出演されていますので、ぜひご覧いただきたいと存じます。

なお、映画の完成に伴い、7月22日には、本市から報道機関を含めた関係者20人がモンゴルを訪問し、映画の特別鑑賞会や野球教室などにおいて親睦を図り、交流を深めてまいりたいと考えています。